

さざなみ

浪漫録

R18

18歳未満の閲覧は
を推奨しない。





「ん……」

ゆっくりと指を自身の秘部へ突き立てた。
ぐちゅぐちゅと掻き乱せば、
いやらしい水音が道場に響き渡る。

「ああ……」

誰かに見られてしまうかも知れないと言う羞恥心と、
目覚めてしまった快樂の間にもはや成す術のない蒸であった。





私達は山縣さんの
計らいにより、
湘南へ来ました。

おまけも二人程一緒です。
(恵さんは診療所があるので
来れませんでした)

あん？

傷だらけの剣心の
身体を癒す為
なのだけれど…



行きますよ、
剣心

プー

お、おろ

ば、馬鹿!

嬢ちゃんも着物なんざ
脱いで、こっち来いよ!
気持ち良いぜ!

カヤカツ







上半身とはいえ

やっぱり裸は
照れ臭いわ…



かあ

私ったら…



薫殿も一緒に
入らぬか？



え……
えっ！



拙者だけ
浸かっていても

あまり楽しく
なくてな……

でも……



脚だけなら
問題なからう

あ、脚？

そっか、
足湯みたいな
感じね……

いいわ、
ちよっと
待ってて





着物が濡れたら

困ると思って
一応ね…



剣心〜



バキッ



あっ!

まじやー!



ヒンヒン



足袋だけ
脱ぐと思って
いたのだが…

ビビ

ビビ







んっ…んん？

ぐわっ

ちゅっ
ちゅっ



まだ子供だと思っていたでござるが…

キゅーっ

はう…！



ぐわっ

薫殿…
拙者はもう…
駄目ですござる

ぐわっ

や…！



立派なご婦人であつたか…

ぐわっ

きゅ



暫しの間、我慢して
欲しがるのよ...

あんっ！

ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ



今から中年男に
抱かれる事、屈辱
かも知れぬが...



剣心... やっ！
なにこれ...！

ハア

あ

き

ハア

あ

き

き

ハア

あっ！あっ！

き

ハア

わ、私の中に...
何かが... あんっ！



薫殿の腔中、
とても熱くて

ハア

ハア

とろとろで
しるよ…

いやあ…

あ

ハア

あ

せーん、



嫌なら止める
でござるか？

ち、ちが…
止めないで…

すう

ハア

とても初めてとは
思えぬ反応でござるな…
まさかもう他の殿方に
捧げた後でござったか？

ハア

んんっ…
…はあ…

ハア



あんあん！



薫殿…一緒に
絶頂を迎えるで
しょうよ…!



あ…あ…あ…
あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

言わせておけば、
言いたい放題！

私が好きなはずと剣心
だけだし、こ、こういう事
したのだって剣心が初めて
だし……って何言わせるの！



★おわり★

